

「祝日」に関する調査 (調査結果の概要)

2015年12月
 一般社団法人 中央調査社
 CENTRAL RESEARCH SERVICES, INC.
 東京都中央区銀座 6-16-12
 電話 03-3549-3121

世論調査、市場調査の専門機関である一般社団法人 中央調査社（会長 西澤 豊）は、「祝日」に関する全国意識調査を実施しました。調査は、9月4日から13日にかけて、無作為に選んだ全国の20歳以上の男女個人を対象に個別面接聴取法で行い、1,200人から回答を得ました。主な調査結果は以下のとおりです。

なお、この調査は、2007年9月にも実施しており、今回は2回目となります。

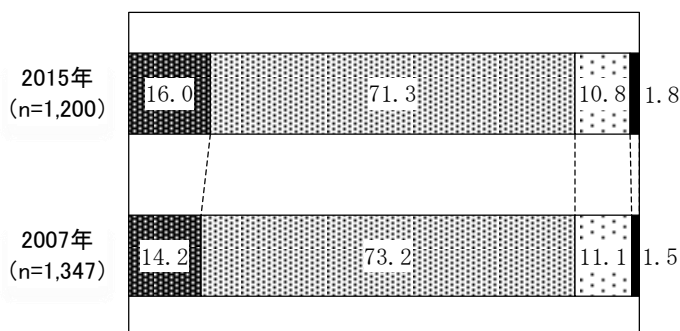
- 年間の祝日の増減意向 - 7割以上が「今のままでよい」 -
- 3連休が増えたことについて - 20代で3連休を好む傾向 -
- 11月の「秋の大型連休」 - 6割近くが反対

1. 年間の祝日の増減意向 - 7割以上が「今のままでよい」 -

今より祝日を増やした方がよいか、減らした方がよいかとせずねたところ、「今のままでよい」という回答が圧倒的に多かった(71.3%)。年代別にみると、「今より増やした方がよい」という回答は20代で最も多く、3割を超えていた(33.3%)。

2007年の調査と比べると、「今より増やした方がよい」と回答した人の割合は1.8ポイント上昇した。

(図1 年間の祝日の増減意向)



- 今より増やした方がよい
- 今のままでよい
- 今より減らした方がよい
- わからない

(表1 年間の祝日の増減意向 - 年代別)

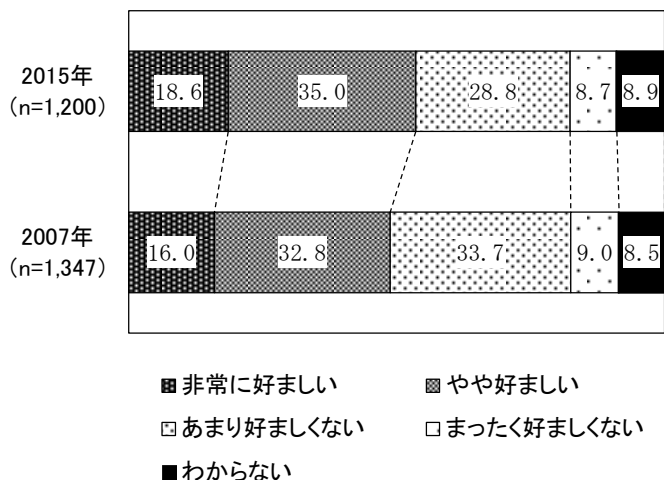
	今より増やした方がよい	今のままでよい	今より減らした方がよい
総数	16.0	71.3	10.8
[年代別]			
20代	33.3	59.4	5.1
30代	20.7	69.3	9.5
40代	23.1	64.8	12.0
50代	14.9	73.3	10.6
60歳以上	6.9	77.5	12.5

2. 3連休が増えたことについて -20代で3連休を好む傾向-

祝日法の改正により、「成人の日」「海の日」「敬老の日」「体育の日」を月曜日にし(ハッピーマンデー)、以前より3連休が増えたことについて好ましいかたずねたところ、「好ましい(計)」が53.6%で「好ましくない(計)」の37.5%を上回った。ただし、年代による差が見られ、20代では7割以上が「好ましい(計)」と回答しているのに対して、60歳以上で「好ましい(計)」と回答しているのは4割台であった。

2007年の調査と比べると、「好ましい(計)」と回答した人の割合は30代を除くすべての年代で増加し、全体では4.8ポイント上昇となった。

(図2 3連休が増えたことについて)



(表2 3連休が増えたことについて「好ましい」と答えた人

-性別・年代別)

	今回(2015年)	前回(2007年)
総数	53.6	48.8
[性別]		
男性	56.5	54.3
女性	50.9	44.1
[年代別]		
20代	73.9	67.9
30代	57.5	59.6
40代	59.3	47.6
50代	56.5	47.0
60歳以上	43.3	38.5

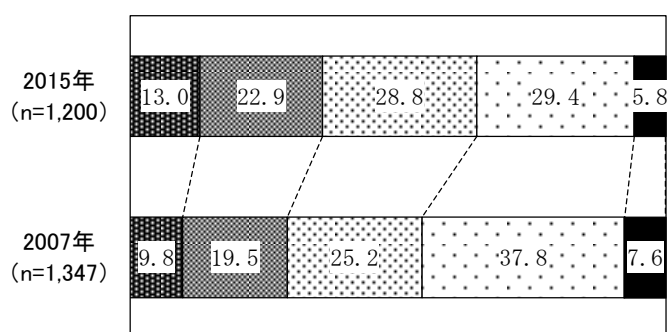
(注)「非常に好ましい」「やや好ましい」と答えた人の割合

3. 11月の「秋の大型連休」 -6割近くが反対-

10月の「体育の日」と11月の「勤労感謝の日」を11月3日の「文化の日」の前後に移動させて、土日や振替休日を利用し、長めの連休を取る「秋の大型連休」という考え方が2007年当時にあったが、11月に「秋の大型連休」を取り入れることについての賛否を再び聞いたところ、「取り入れない方がよい(計)」という回答が6割近くとなった。性別にみると、男性は4割以上が「取り入れた方がよい(計)」と答えているのに対し、女性では約3割であった。年代別にみると、20代では「取り入れた方がよい(計)」が「取り入れない方がよい(計)」を上回ったが、30代以上のすべての年代では「取り入れない方がよい(計)」が「取り入れた方がよい(計)」を上回った。

2007年の調査と比べると、「取り入れた方がよい(計)」と回答した人の割合はすべての年代で増加し、全体では6.6ポイント上昇した。

(図3 11月の「秋の大型連休」)



■ぜひ取り入れた方がよい ■まあ取り入れた方がよい
 □あまり取り入れない方がよい □取り入れない方がよい
 ■わからない

(表3 11月の「秋の大型連休」を

「取り入れた方がよい」と答えた人
 -性別・年代別)

	今回(2015年)	前回(2007年)
総数	35.9	29.3
[性別]		
男性	42.3	35.7
女性	30.1	23.9
[年代別]		
20代	57.2	47.6
30代	38.0	34.5
40代	38.0	29.3
50代	34.2	28.5
60歳以上	29.1	20.9

(注)「ぜひ取り入れた方がよい」「まあ取り入れた方がよい」と答えた人の割合

(調査の設計・方法など)

- (1) 調査地域 全 国
- (2) 調査対象 満20歳以上の男女個人
- (3) 標本数 4,000
- (4) 抽出方法 層化三段無作為抽出法
- (5) 調査方法 調査員による個別面接聴取法
- (6) 調査時期 2015年9月4日～13日
- (7) 有効回収数 1,200

(問い合わせ先) 〒104-0061 東京都中央区銀座6-16-12
 一般社団法人 中央調査社 (担当 絹川)
 TEL 03-3549-3121 FAX 03-3549-3126
 ホームページ : <http://www.crs.or.jp>